

— HEARTの中にはARTがある —



OPEN DOOR!

既存の知識・技術・流行に影響されない作品_アール・ブリュット=生の芸術

変なのが、凄いで頭から
離れない、なんじゃこ
りや、打ちのめされる
おもいしろい、かわい
い、初めて見た、興奮
する、見て、飽きさない

アート

セッショ

富山県内外の作品を県内3会場にて特別巡回展示_入場・観覧無料

砺波セッション 2/23(金) - 25(日) 新川セッション 3/2(金) - 4(日) 作品展示のみ

in TOYAMA

富山セッション_富山県民会館・美術館 (富山市新総曲輪4-18 / TEL 076-432-3111)

[作品展示_アール・ブリュットの歴史・解説] 2018 3/21(水・祝) - 25(日) 10:00 - 18:00

[特別講演_映像上映_トークセッション] 2018 3/24(土) 13:00 - 16:30

[座談会+ワークショップ] 2018 3/25(日) 10:00 - 11:45



【主催】富山県 【共催】アートNPO工房ココベリ、東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動支援センター
【後援】北日本新聞社、チューリップテレビ、一般社団法人富山県手をつなぐ育成会 【協力】高浜市やきものの里かわら美術館
【お問合せ】アートNPO工房ココベリ / npococopelli@gmail.com

OPEN DOOR!
ボダレス・アート
セッション | 2018 |
in TOYAMA
— HEARTの中にはARTがある —

1_ 砺波セッション [作品展示のみ]

日時__ 2/23(金)-25(日) 10:00-18:00
会場__ 北日本新聞社 砺波支社ギャラリー
(砺波市太郎丸2丁目129 / TEL 0763-32-2012)

2_ 新川セッション [作品展示のみ]

日時__ 3/2(金)-4(日) 10:00-18:00
会場__ 北日本新聞社 新川支社ギャラリー
(魚津市吉島582-1 / TEL 0765-24-1111)

3_ 富山セッション [作品展示_アール・ブリュットの歴史・解説]

日時__ 3/21(水・祝)-25(日) 10:00-18:00 会場__ 富山県民会館・美術館
(富山市新総曲輪4-18 / TEL 076-432-3111)

日時__ 3/24(土) 13:00-16:30 [特別講演_映像上映_トークセッション]

13:00- 開場
13:10-14:00 特別講演

演題

それってアートなの? 多様な人々が暮らす
地域社会から生まれる表現について

講師 高浜市やきものの里
かわら美術館 学芸員

今泉岳大



[いまいずみ たけひろ] 1982年、愛知県生まれ。高浜市やきものの里から美術館学芸員。BankART1929を経て2010年より現職。企画した主な展覧会に「ボダレス・アート・コレクション—芸術がほどいてゆく境界—」(2014年)、「PLAY vol.1—表現における遊戯性—」(2016年)がある。そのほか、愛知教育大学非常勤講師、「亀崎せこみち展」のキュレーターを務める。アール・ブリュット/アウトサイダー・アートの調査・発掘・研究を行っている。愛知県内の作品はもとより東海地域を中心に調査を行っているほか、グローの発掘調査員も持っている。愛知県の芸術支援センターの協力委員会においても自身の経験や研究に基づいた的確な指摘・アドバイスをを行い、愛知県の障害者芸術支援を牽引している。

14:10-14:50 映像上映

* チューリップテレビ・月〜金曜 18:15〜「ニュース6」の特集

- 10分間
富山のアール・ブリュット今後のあり方を模索*
ボダレス・アートミュージアムNO-MA・滋賀県庁・やまなみ工房・富山県庁を話し、富山の障害者アートの可能性を探る。
- 8分間
アール・ブリュット作家 絵が語りかけるものとは*
「ビエンナーレTOYAMA」に出品したアール・ブリュット作家・谷内英理菜さんの日常と創作の秘密を追う。
- 3分間
「KOMOREBI」展の記録
フランスで開催された日本のアール・ブリュット展。高岡市在住・磯野貴之氏の展示等。
- 3分間
新潟アール・ブリュット サポートセンターNASCのPR

15:00-16:30 トークセッション

演題 地域・障害者にとってのアート、
そしてアートがつなぐ地域って?

パネラー

東海・北陸ブロック
障害者芸術文化活動広域支援センター

坂野健一郎



[さかの けんいちろう] 國學院大學卒。(福)新潟県社会福祉協議会に11年間勤務。2017年1月に(福)みんなできえるに入職し、障害者の芸術活動支援モデル事業を担当。2017年6月に厚生労働省より障害者芸術文化活動普及支援事業におけるブロック圏域事業の採択を受け現職。現在、東海・北陸ブロック8県において障害のある方の創作活動を広めていくために後方支援を行う。

パネラー

チューリップテレビ・アナウンサー

谷口菜月



[たにくち なつき] タカニュース「N6」のキャスターを務め、障がい者の芸術活動について独自の視点で継続的に取材。アール・ブリュットの先進地・滋賀県にも足を運ぶなどし、富山における障がい者の芸術の現状や課題を伝えてきた。アール・ブリュットに関する特集を数回にわたり放送。現在も取材を続けている。

パネラー

高浜市やきものの里
かわら美術館学芸員 今泉岳大

進行

アートNPO工房・ココペリ代表
美術作家

米田昌功



[よねだ まさのり] 2017年に25年間務めた特別支援学校を退職し、作家活動と障がい者の芸術活動支援を中心とした生活に取り組む。2004年、特別支援学校では県内で初めて美術部を創設し、早い時期からアール・ブリュットに着目し、美術からの視点を軸とした支援活動に取り組んでいる。美術作家としても、人人(ひとひと)展会員、富山、東京、福島を拠点として制作・発表に取り組んでいる。

日時__ 3/25(日) 10:00-11:45 [座談会+ワークショップ]

タイトル コミュ・セッション <創作活動de支援したい人集まれ!> 当日受付 (詳細はココペリFacebookをご確認ください)